

# 兵庫県立工業技術センターの整備について

## 1 事業概要

工業技術センターでは、現本館棟の老朽化が著しいため建替等の整備を行います。平成25年度完成を目途に技術交流館（仮称）の建設、研究本館（現開放研究棟）の耐震改修や先端研究開発機器の整備などを行います。

これにより、県内技術支援機関の中核拠点として、高度なニーズに対応できる先端研究開発や産学連携・交流機能を有する開放型の研究開発施設として機能強化を図ってまいります。

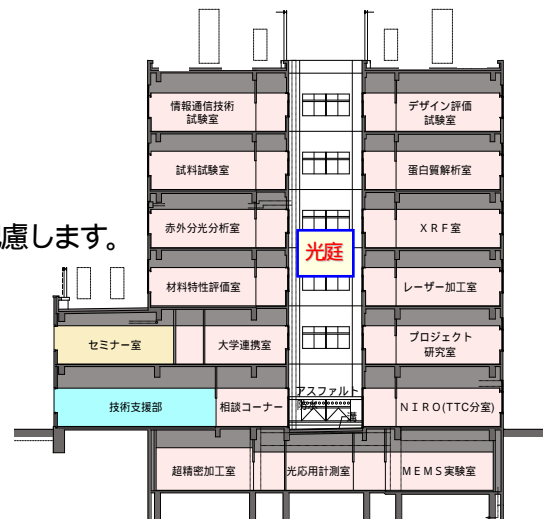
## 2 施設概要

- (1) 建設場所 神戸市須磨区行平町3丁目1番地
- (2) 構造規模及び機能概要

建物名称	構造規模	強化する機能等		主な整備概要
技術交流館 (仮称)	RC 地上6階 地下1階 (約5,700㎡)	3～6F	【技術高度化支援機能】	研究分野別に開放型研究室(オープンラボ)を設置【新設】
		2F	【産学官連携機能】	大学連携室【新設】 産学官交流室【新設】 プロジェクト研究室【新設】 セミナー室【拡充】
		1F	【技術相談支援・ランチ機能】	ハローテクノ(総合相談窓口)【拡充】 技術支援機関の集中配置【新設】 展示スペース【拡充】 技術相談室【拡充】
		B1F	【耐振動実験・測定機能】	床耐荷重・振動を考慮した研究室【拡充】
研究本館 (仮称)	現開放研究棟 (5,352㎡)	研究室・事務室の再配置、耐震改修		研究員の研究室・事務室を移設、空調設備更新、耐震改修
試作実験館 (仮称)	現実験作業棟 (1,797㎡)	レイアウト改修		実験、試作、計測、評価を行う大型・重量設備を配置
現本館	(5,367㎡)	解体撤去		緑地、駐車場として整備

### (3) 技術交流館の設計コンセプト

- ・県内のものづくり技術支援のシンボルにふさわしい建物  
技術の「新しさ」と「人への優しさ」のイメージを兼ね備えた外観です。
- ・既存建物への日照・視界の確保  
日照や視界を確保する南北軸平面、東西外壁曲面形状です。
- ・環境に配慮した建物  
屋上緑化、太陽光発電(30KW)、景観に潤いを与える庭園など環境に配慮します。
- ・県内産材、工業技術センター開発材料の使用  
淡路瓦、播州織、県内産間伐材を活用します。



技術交流館断面

## 3 施設整備スケジュール

- H22/12～H24/6 技術交流館建設工事、試作実験館改修工事
- H24/7～H25/5 研究本館改修
- H25/8～H26/3 本館棟解体撤去、駐車場等周辺整備



工業技術センター技術交流館(仮称)その他建築工事 完成予想図

